

アジコムだより

2025年7月発行 Vol.115

短い梅雨が終わり、一気に夏到来です!!セミの声が追いついてないほどの急な暑さ。熱中症予防のためには、こまめな水分補給や、疲れをためない十分な休息が不可欠です。熱中症対策でお勧めは、スイカ!水分・糖分が含まれていて、さらに塩を振って食べれば、塩分も補給できます。最近はカットしたパックも人気のようです。

機内でのモバイルバッテリー持ち込みにご注意!!

すでにニュース等でご存じかと思いますが、本日7月8日よりモバイルバッテリーの取り扱いが変わります。

国内外において、機内でのモバイルバッテリーの発煙・発火等の事例が発生しているところ、これらを早期に発見し対応を図ることにより客室安全の一層の向上を図るため、7月8日から、モバイルバッテリーを機内に持ち込む際は収納棚に入れずに、常に状態が確認できる場所に置いていただく取扱いに変更いたしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

☆ 預け荷物には入れない!

必ず機内持ち込み手荷物にいらしてください

☆ 短絡(ショート)しないように個々に保護!

予備のバッテリーの端子に絶縁テープを貼る、ケースや収納袋に入れる、複数のバッテリーや金属品と同じ袋に入れないなど、短絡(ショート)を防ぐ

☆ ワット時定格量(Wh)を確認!

ワット時定格量が160Whを超えるものは持ち込み禁止です。160Wh以下のものであることをご確認ください。(100Whを超え160Wh以下のものは2個まで) 定格容量の記載が確認できないバッテリーは持ち込めない、国外では没収となることもあります。また、海外で持ち込めるWh上限が異なります。

以下7月8日からの追加ルール

★ 収納棚に収納しない!

座席の上の収納棚に収納せず、お手元で保管ください(目の届くところ)。

★ 機内で使用する際は常に状態が確認できる場所で!

機内でのモバイルバッテリーから携帯用電子機器への充電または機内電源からモバイルバッテリーへの充電については、常に状態が確認できる場所で行ってください。
(航空会社によっては機内での充電を禁止していますので、ご注意ください)

中国国内線でのモバイルバッテリー機内持ち込み禁止に

中国民航局は、6月28日から「3C認証」ロゴがない又は鮮明でないモバイルバッテリー、さらにはリコール対象となった型番のモバイルバッテリーを中国国内便の機内持ち込みを禁止する旨発表しました。

3C(CCC)とは、中国の強制製品認証(China Compulsory Certification)を指し、日本におけるPSEマークに相当します。

中国当局は各空港の保安検査部門に対し、乗客の携帯するモバイルバッテリーの検査を強化し、不適合品の機内持ち込みを厳重に防止するよう指示を出しています。つきましては、今後、中国国内便に搭乗する際には、より一層厳格な検査が行われることが想定されますところ、今一度機内持ち込みされるモバイルバッテリーに「3C認証」ロゴが鮮明な形で付いているか等ご確認の上、搭乗されるようご注意ください。

※国際線を利用する場合には、「3C認証」ロゴのないものであっても、モバイルバッテリーの機内持ち込みは引き続き可能ですが、急な変更等もありますのでご注意ください。

※高速鉄道では、まだ「3C認証」確認はしないとのことですが、中国高速鉄道で持ち込み可能な定格量は100Whまでです。また、こちらも急な変更等もありますのでご注意ください。

◆お問合せは-----



株式会社 アジア・コミュニケーションズ

〒700-0902 岡山市北区錦町 5-15 南田辺ビル 4階

TEL: 086-231-0334 FAX: 086-222-7732